

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 オリーブハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	2階のプレスルームで個別指導を行い、1階では集団での活動を行っている。	今後も必要に応じて環境を整えて療育を行っていく。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	1:1や2:1で対応している。	体調不良が出た際の職員補充が不十分な為、今後検討していく。
	3	合理的配慮の視点に基づく環境整備がなされているか	100%	0%	足ふみ台を使用する等、個々に応じた環境設備を整えている。	今後も個々に応じた環境設備を整えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日掃除、消毒を行い清潔を保ち、活動に合わせて机や玩具箱の配置を変更している。	今後も活動に応じて配置の変更を行い、子ども達に良い空間づくりを行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日行う申し送りで前日の振り返りを行い業務改善に繋げている。	非常勤職員は会議等に参加する時間が殆どない為、今後参加ができるように改善していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	83%	17%	デイサービス評価表にて評価を行っている。	いただいたご意見を踏まえて話し合い、業務改善に繋げていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75%	25%	ホームページで公開している。	今後もホームページにて公開していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%	第三者評価は行っていないが、保護者様のご意見から業務改善に繋げている。	第三者評価は実施しておりませんが、今後も保護者様のご意見から業務改善に繋げていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%	定期的に研修に参加をしている。	今後も年間の研修計画を基に、非常勤職員も参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	児童に合わせて分析し作成している。	今後もアセスメントツールを活用し計画の作成を行っていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	JSI-R等のアセスメントツールを使用している。	・JSI-R等のアセスメントツールを使用しているが、職員全員に周知ができていない為周知していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインにて基づいて支援内容を設定している。	質の向上を図る為に研修等に参加をしていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	共通意識をもって支援できるように、申し送りで利用児童の様子を伝えている。	今後も申し送り等で情報共有をしていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	子どもの様子を共有しチームで立案している。	今後も子どもの様子を共有しながら立案していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	固定化しないように職員間で話し合い、工夫している。	今後も職員間で意見を出し合い工夫しながらプログラムを考えていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0%	集団活動と個別の活動を組み合わせて行っている。	今後も集団活動と個別活動を組み合わせ行っていくにあたって、プログラムが固定化しないよう今後もチームで立案していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	当日の朝の申し送りで支援内容の確認をしている。非常勤職員には出勤後支援内容を伝えている。	引き続き行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	翌日に振り返りを行い、情報を共有している。	申し送りで伝え漏れがないように工夫していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎回ケース記録をつけて検証、改善に繋げている。	ケース記録を用いて月末の会議で検証をしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	80%	20%	今年度途中から児童発達支援のお子様利用がスタートしたので、まだモニタリングの時期になってはいないが、必要性があれば行っている。	今後計画に基づき、定期的に行っていくようにしていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	50%	該当児はいないが児発管が参加するようになっている。	担当者会議等があれば児発管が参加をしていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	法人の代表が行っている。	関係機関と連携を図っていくように努めていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	該当する児童がいない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	該当する児童がいない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	受け入れ前に通園されている園に行き、見学をさせていただいている。	今後も送迎時に園からの様子をお聞きし、受け入れ前に通園されている園に見学に行く。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	50%	今年度の途中から利用児童が来たため、情報共有が出来ていない。	今後、小学校等と情報共有が出来るように努めていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	研修があれば受けている。	今後も引き続き参加をしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	20%	80%	夏休みを利用して地域の方にも参加して頂けるように、地域交流イベントとして人形劇を開催した。	今後も地域交流できるイベントを考えていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%	法人の代表が参加をしている。	今後も法人の代表が参加をしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎を通じて日々の報告を行い共通理解に努めている。	保護者様に伝える際は分かりやすく丁寧に伝えていくことを徹底していく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%	ペアトレは行っていない。	保護者向けの研修等があればお知らせしていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明をしている。	今後も契約時に行っていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	管理者が行い説明時には必ず同意を得ている。	今後も継続して行っていく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様からの相談事に対しては職員間共有し保護者様に助言している。	今後も継続して行っていく。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	児発向けの保護者会は行えていない。	児発向けの保護者会は開催できていない為、今後行えるようにしていく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	保護者様からの相談があった際は職員間共有を迅速に対応している。	細やかな意見も苦情と捉え、管理者で止めず、職員と共通認識ができるようにしていく。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	お知らせなどはお手紙で配布をしている。	今後も継続して行っていく。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	名前のある物はシュレッダーをし、外部に漏れないように注意をしている。	適宜注意喚起を行っている。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳で情報交換をし、また個々の発達状況に合わせて対応している。	今後も引き続き行っていく。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	夏休みに人形劇を行い地域住民を招待した。地域のボランティア団体の方に来て頂き、一緒にイベントを開催した。	今後も地域の方が参加して頂けるような行事を考えていく。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	事業所では誰もが見える場所にマニュアルを置き、保護者様にはマニュアルを配布している。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		100%	0%	定期的に訓練を行っている。	お子さまと一緒に訓練ができるように考えていく。
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		100%	0%	利用前に利用者の情報を提供させていただいている。	今後も定期的に行っている面談の際に確認をしていく。
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		100%	0%	利用前にアレルギーの有無を確認している。	アセスメントや毎年更新するフェースシートで今後も確認する。
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		100%	0%	朝の申し送りで情報を共有し再発防止に努める。	共有できる場所に保管し閲覧できる状態にしている。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		100%	0%	定期的に研修に参加している。	非常勤職員も参加していけるように考えていく。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		83%	17%	現在身体拘束が必要な児童はいない。	今後身体拘束が必要なお子さまが出た場合は、組織的な決定と保護者に十分な説明を行います。